

# + Viva Kango

Campus News of Japanese Red Cross Hokkaido College of Nursing

日本赤十字北海道看護大学



雪解けも順調に進んだ四月五日、本学講堂において平成十七年度入学式が挙行され、大学院修士課程八名、学部一一〇名（女子九七名、男子十三名）が松木光子学長より入学を許可されました。式は御歌「四方の国」斎唱、入学生紹介、学長式辞と進み、日本赤十字学園理事長大塚義治氏（日本赤十字社看護部長浦田喜久子氏代読）、北見市



新入生代表

長神田孝次氏、日本赤十字社北海道支部長伊藤義郎氏（事務局次長佐々木康昭氏代読）の御来賓より御祝辞を賜り、祝電の披露、上田陽子学生自治会会长の歓迎の挨拶、入学生代表の青野裕太さんによる誓いの言葉をもつて式を無事終了しました。

翌四月六日午後五時半より本学アリーナにおいて学生自治会主催による新入生歓迎会が学生、教職員が多数参加して行われました。学長の挨拶、お茶とジユースによる乾杯、教員紹介、ハンドベル、よさこい、吹奏楽メンバーによる実演を伴ったクラブ紹介、bingoなどわざわざいあいと盛り上がり、新入生たちの新たな学校生活の門出を祝いました。

平成十七年度

## 入学式

新入生歓迎のことば



学長  
松木 光子

本学は、赤十字の理念である「人道」のもとで質の高い看護専門職者の養成を目指しています。その看護専門職者は、個々の能力を発揮して根拠に基づいた看

春の訪れとともに去る四月五日に十七年度の入学式を挙行し、学部一一〇名、研究科八名が入学されました。入学生の皆さん入学おめでとうございます。

護を提供いたします。そのためには、学部教育において一人一人確実に感性をみがき、基礎的知識・技術を習得して下さい。基礎的知識・技術、そして追求する態度が伴つていれば、その後自分で工夫や開発へと発展させることも可能です。習字にたとえますと、学部教育は基礎の書き方を修得し、卒業後自分なりの墨の濃淡や文を作り出していくものであります。修士課程では、専門領域を深化させ、開発に繋がることが期待されております。

それぞれが大学の多様な資源を大いに活用して、自己を耕し、創造して下さい。そして将来花が咲くことを願つて歓迎のあいさつとします。

## 平成17年度入試概況

試験区分 募集人目等	推薦入学試験		一般入学試験 大学入試センター試験 利用入試
	公募推薦	指定校推薦	
募集人員	35名	10名	45名
志願者数	44名	11名	189名
受験者数	44名	11名	182名
合格者数	39名	11名	93名
実質倍率	1.1倍	1.0倍	2.0倍
	3.6倍		

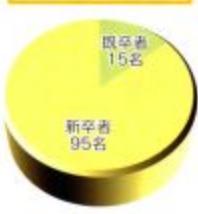
### ■入学者(出身高校)都道府県別内訳

北海道(99名)・岩手県(2名)・宮城県(1名)・福島県(1名)  
栃木県(1名)・東京都(1名)・神奈川県(2名)・岐阜県(1名)  
奈良県(1名)・広島県(1名)

### 男女別内訳



### 新卒・既卒者別内訳



# 平成十六年度卒業式

一大学院生四名修了、  
学部生一〇四名卒業！



平成十七年三月九日（水）午前

前十時より、本学講堂にて、平成十六年度看護学研究科修了式ならびに看護学部卒業式が挙行されました。本年度からは大学院看護学研究科の修了式が新たに加わり、いつそう華やかで充実した卒業式となりました。

開式の後、出席者全員により御歌「四方の国」を齊唱。続いて、松木光子学長より看護学研究科修了生四名（代表田中和子さん）に修士学位記、看護学部



が授与されました。

学長式辞、近衛忠輝日本赤十字学園理事長（代理）挨拶に続き、神田孝次北見市長（代理）、伊藤義郎日本赤十字北海道支部長（代理）より祝辞を受けました。送辞は三年生の東堂愛さん

が、答辞は卒業生の柴田加奈子さんが述べました。その後、卒業生に対して数多くの記念品が贈られました。最後に「ほたるの光」を齊唱し、厳肅な雰囲気の中での卒業式は無事終了しました。卒業生の華やかな袴姿と希望に輝く笑顔が印象的でした。

なお、当日午後六時からはホテル黒部にて卒業生による謝恩会が開催されました。

## 教職員人事

**退職** 平成十七年三月三十一日付

助 手 泉玲子

講 師 吉川一枝  
齋藤秀哉、奥野晃正、

教 授 高間静子、梶山祥子、

助 手 河野啓子

講 師 井上由紀子

助 手 井上真子、萩原麻紀、

教 授 本間仁子

講 師 寺島恭子、小山満子、

助 手 井上真子

講 師 伊藤善也

助 手 長島瑞美

教 授 佐久間まこと

講 師 矢萩悦吾

助 教授 山本憲志、根本昌宏、

助 教授 経理課主事

助 教授 佐久間まこと

助 教授 経理課施設管理係長

助 教授 経理課施設管理係長

助 教授 経理課施設管理係長

## 第3回卒業生の進路について

### 編集記録

新たな気持ちで春を迎えられ

たことと存じます。

広報委員会もメンバーを入れ替えて、+Viva Kango(年3回発行)を編集して参りますので、宜しくお願い申し上げます。

	道内	道外	合計
赤十字開院	50	8	58
公立病院	3	1	4
大学附属病院	4	12	16
公的・各種団体 医療機関	13	2	15
医療法人	3	1	4
進学	2	3	5
合計	75	27	102

真っ青なオホーツク・ブルーの空を悠然とトンビが舞っています。本学の開学 당시眺めた美しい北見の自然を忘ることできません。平成十一年四月キャンパスには個性あふれる一期生が入学し、生き生きとした



基礎科学講座  
教授 斎藤秀哉

道内で新しい大学を創設するという稀な機会に参画したこと、学に励む雰囲気に私自身も随分励されました。

道内でも新しい大学を創設するという稀な機会に参画したこと、学に励む雰囲気に私自身も随分励されました。

最初の年の七月に開学式が盛大に挙行されたこと、秋にはオホーツク大学間公開交流セミナーを開催し、道東の他大学の先生達と楽しく交流したこと、思い出されます。開学した年の終わ

りに、本学の後援会を立ち上げました。本学にスタート台となつた創設期に、多くの教職員と学生の皆様と共に過ごせたことを心から誇りに思つております。

GO OKHOTSK BLUE!です。

終わりに、六年間職責を果たすことができましたことは、多くの皆様の温かいご支援の賜物です。厚く御礼を申し上げます。皆様のご健

康学先  
赤十字開院内訳  
【道内】  
赤十字病院 北見赤十字病院、旭川赤十字病院、釧路赤十字病院、函館赤十字病院、浦河赤十字病院、小清水赤十字病院、豊頃赤十字病院、仙台赤十字病院、八戸赤十字病院、岩手赤十字病院、名古屋第一赤十字病院、和歌山医療センター、岐阜医療センター、天理大学医学部附属研究科、岐阜医療技術専門学校、岩手看護専門学校附属看護学科、ベルラ